

塩田王野崎武左衛門の居宅

野崎家旧宅



指定区分	県指定史跡
読みかた	のざきけきゅうたく
所在地	倉敷市児島味野
指定年月日	昭和52年4月8日
解説	江戸時代後期に塩田事業と新田開発で財をなした野崎武左衛門が建てた居宅。壮大な敷地には、十数棟の建物と庭園が良好な状態で保存されている。建造物は国重要文化財に指定されている。※「崎」の漢字は「大」の部分が「立」
アクセス方法	JR児島駅から徒歩15分 / 児島ICから車で10分
公開状況	入館: 9:00～16:30 / 休館: 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始 / 有料 [問い合わせ先] 086-472-2636
設備	駐車場  トイレ 
備考	「野崎家塩業歴史館」として塩づくりに関する歴史資料や民具、伝来の美術品の展示のほか、小学生を対象とした「塩づくり教室」(要予約)なども開催している。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	野崎家旧宅
よみかた	のざきけきゅうたく
しょざいち (所在地)	倉敷市児島味野
していしたひ (指定した日)	昭和52年4月8日
せつめい	江戸時代(えどじだい)のおわりごろ、児島地区(こじまちく)に巨大(きょだい)な塩田(えんでん)の開発(かいはつ)を行った野崎武左衛門(のざきぶざえもん)が建てた住居(じゅうきょ)です。日本の民家(みんか)の歴史上(れきしじょう)とても貴重(きちょう)な建物(たてももの)が10棟(とう)以上と庭園(ていえん)がきちんと残されています。